

## 高麗山フォレストツアーの報告

秋を感じさせる9月15日（月・祝日）、湘南・大磯の近くにある高麗山（3つの峰130m～181m）でのフォレストツアーを行いましたのでご報告します。

参加者は10名で、メインのフォレストガイドは奥平里美さんで、里美さんが宮脇先生の講演会で出会った方でプロ級の腕を持つカメラマンでもある森本さんがサブガイド、そして高津先生の関係で出会った十合（そごう）さん（女性）でした。里



美さんの母親のたみ子さん、歩く植物図鑑の弟の昌斗君、楠木さん（夫人）、岩澤さん夫妻、西川洋一さん、そして吉本が参加しました。

**【高麗山の紹介】**奈良時代の668年高句麗国が滅亡して、王族若光（じゃこう）は多くを引き連れ大磯の高麗に渡来して大陸文化を伝えました。（716年大磯をはじめ、各地に渡来した高句麗人が若光を郡長として武蔵国高麗郡に移され開発を命じられた。）

**【高麗山の植生】**高麗山全域が高来（たかく）神社の所領であり、霊域として禁伐の政策をとってきた。そのために現在でも天然性の林相が維持されています。（現在は県有林）

**『フォレストツアーでの様子』**午前10時30分高来神社に上記の10名が集合し、自己紹介、里美さん指導のストレッチ体操ののち笑顔とともに高麗山でのフォレストツアーが始

まりました。ナギの木、トベラ、椎の木（低木）などを観察したり、葉っぱを取ってちぎってなめたり、においをかいだりしました。タブノキやケヤキの大木に抱きついたり、耳



をつけて何か聞こえないかと（耳を）澄ましたり、大きなモチの木にできたこぶを背景に男性たちはそれぞれ力こぶをつくって見せたり、童心に戻って楽しみました。

里美さんが高木、亜高木、低木、そして下草と組み合わせさせて土地本来の森ができているのをよく納得で

きるぐらい実地に説明してくれました。素晴らしいです！天然の素晴らしさに一同感嘆し、神様の創造の業を賛美しました。

歩く植物図鑑の昌斗君（農業高校生）が皆の質問に良く答えていて感心しました。途中昼食はさわやかな風が吹き抜ける山の尾根に腰掛け、手弁当を広げておいしく頂きました。

湘南平の展望台からは湘南海岸を一望にすることができ、江の島の向こうから真鶴半島、伊豆半島そして伊豆大島、初島なども眼下に見ました。

湘南 1000 年の森プロジェクト（森の防潮堤）構想に思いを馳せました。

（緑の会湘南支部としてその実現に向け働きかけています。）

山を下る途中浮かび上がる富士山を見ることもできました。

☆西川さんは一番の年長者ですがみんなが「西川さんが一番元気見たい！」と言っていました。この日は大好きな釣りの予定でいましたが予定を変更してフォレストツアーに参加されました。昌斗君に釣りの指南を近くするみたいです。

☆岩澤さんは「万歩計で測ったところ1万3千歩歩いたことになります。植生が今もそのまま残っており、尾根を歩くときは時折山麓から涼しい風が吹き、6時間近い森林浴を満喫することができました。」と感想を述べています。ご夫婦で参加されるのはとてもいいですね。



☆森本さんは環境保護についてもっと知って一度パンタナールで自然保護をテーマに写真を撮ってみたいと言っていました。次回11月のフォレストツアー（真鶴半島）も楽しみにしています。

報告 吉本邦男